

「新しい契約に生きる」

ルカ 22 : 14 ~ 20、エレミヤ 31 : 31

■ クリスチャンの霊的ガス欠状態

クリスチャンになっておこる現象として最初の3年くらいは、何もかもが新しく、喜びでいっぱいなのですが、3～5年くらいたつてくるとだんだん息切れがしてくることがあります。聖書を読まなければならぬ。奉仕をしなければならぬ。献金をささげなければならぬ。喜んで神様のためになんでもできなくなることがあります。霊的ガス欠状態です。(ルカ 22 : 14 ~ 20)

■ 古い契約と新しい契約

旧約聖書に書かれています。「見よ。その日が来る。主の御告げ—その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、新しい契約を結ぶ」(エレミヤ 31 : 31) この御言葉を見ると分かるように、旧約の時代に新しい契約が既に計画されていたことが分かります。それは神の憐みでは創られた約束ではなく、新しい約束は神様の計画によるものです。イエス様は私たちのために十字架にかけられて、実際に肉が裂かれて血が流されました。それによって私たちは救われました。このイエス様の十字架が新しい契約です。古い契約は石の板に書き記されましたが、新しい契約は心に書き記されました。それによって、人から教えられてなくても神様との個人的なつながりがあるからわかるようになり、この新しい契約を通して神様は罪の完全な赦しをもたらしたのです。

しかし、イエス様を信じ罪の完全な赦しを受け取ったにも関わらず、私たちは古い契約に生きてしまいます。古い契約と新しい契約は根本的に実行の仕方が違います。それを、自転車と自動車に例えてみましょう。自転車は自分でこいで、前にすすませ、曲がるときは体を横にかたむけたりして曲がります。また、自動車はアクセルを踏んで動かし、ブレーキで、止まります。もし、自動車を自転車のようこいで動かそうとしたらエンジンは壊れてしまうでしょう。自転車と自動車は全く違い、自動車を自転車のやり方で動かすことはできません。この例えで聞くとわかりやすいのですが、私たちクリスチャンはこれと同じようなことをしてしまいます。新約聖書に書かれていることを、古い契約のやり方で、やろうとしてしまうのです。新しい契約を古い契約のやり方でやろうとて

うまくいきません。新約聖書に敵を愛しなさいと書いてあります。イエス様に言われたから私たちは愛しにくい人でも愛さなければならない、そのような気持ちで「愛します。愛します。」と言い続けても出来る筈がありません。ほかのことも同様です。「～しなければならない。」から行うというのは、新しい契約を古い契約の生き方でやろうとしていることなのです。

「神は私たちに、新しい契約に仕える者となる資格を下さいました。文字に仕える者ではなく、御霊に仕える者です。文字は殺し、御霊は生かすからです。」(Ⅱコリント 3:6)

まさにこの御言葉のいうとおりです。新しい契約、イエスキリストによる契約は人を生かします。御霊はわたしたちを生かします。パウロは言っています。「あなたがたはどこまで道理がわからないのですか。御霊で始まったあなたがたが、いま肉によって完成されるというのですか。」(ガラテア 3:3) クリスチャンルール、教会の決まり、牧師の目、人との比較する心、に縛られている。そんなものを守ろうとして守れず疲れてしまいます。イエス様が十字架で死んでくださって、解放して下さったのです。

まとめ

新しい契約は御霊の声に従うことです。イエス様を信じて、心が変わられて、新しくなって、聖霊様がすんでくださっているのです。聖霊様に従うのです。心が聖霊様で満たされると自発的になります。古い契約で生きていたら。何か失敗したら自己嫌悪におちいりますが。新しい契約で生きてると聖霊様が原動力なので、自分の力でやろうとしなくていいのです。新しい契約を実行するためにはイエス様を信じ、聖霊様に満たされることです。私たちの罪のために身代わりとなって十字架にかかってくださり、罪が赦されました。それと同時に、生まれ変わった新しい人生を歩めるように復活してくださいました。このことを覚え古い自分の価値観をすて、聖霊様に満たされ新しい契約の中を歩いていきましょう。